

議会だより



なかさっない



きれいなリンクをありがとう！（中札内小学校グラウンド）

12月定例会

条例改正、補正予算など	P 2～4
一般質問	P 5～9

議会活動報告

住民参加型予算制度ワークショップほか	P 10～11
模擬議会（中札内中学3年生）	P 12～13
合同所管事務調査	P 14
上士幌町行政視察	P 15

編集後記など	P 16
--------------	------

農業担い手確保に向け、第三者継承に係る条例を制定 上札内交流館の指定管理者が新しく決まる

中札内村議会12月定例会は、12月10日に招集され、会期を13日までの4日間とし行われました。

10日には、報告2件、承認1件、議案16件を審議し、原案どおり可決しました。

13日に4人の議員が一般質問を行い閉会しました。

条例の制定・改正

●中札内村第三者農業経営継承者奨励金交付条例

基幹産業である農業の担い手確保に資するため、新たに第三者農業経営継承者奨励金交付条例を制定し、農業経営の安定支援を図ろうとするもの。

なお、条例制定に伴い、中札内村新規就農者誘致に関する特別措置条例は廃止する。

★船田議員

問 一戸一法人の場合はどのようなのか。

答 法人従業員が新たな法人を設立し、継承した場合は対象となる。

★宮部議員

問 旧条例から変更になった部分はあるのか。

答 年齢要件の変更と1年目の奨励金を100万円から600万円に変更している。

●中札内村水道事業給水条例

生活衛生等関係行政の機能強化のための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う水道法施行令等の改正に伴い、災害発生時の迅速な対応が求められることから、水道事業の技術者資格要件を緩和し、水道事業の基盤強化を図ろうとするもの。

★木村議員

問 改正でどのようなことが期待できるのか。

答 資格要件を緩和することで、災害時にいち早く多くの技術者が対応に当たることができるようになる。



●中札内村中島農業センター設置条例

中島農業センター施設の有効活用と利用者の利便性を向上させるため、別表で定める使用区分に新たに相談室を加え、その使用料（200円／時間）を規定する改正を行おうとするもの。

指定管理者の指定

●上札内交流館

○指定管理者
上札内企画

令和7年4月1日～

令和10年3月31日

★大和田議員

問 様々な自主企画事業を実施するとのことだが、現在の指定管理者も同様に実施していたのか。

答 地域の方と連携する中で、天体観測会、子ども対象のミニ四駆作成・走行会などの事業を実施している。

現在協力いただいている地域の方々が中心となり上札内企画という団体を設立し、今後、健康づくり事業、自然観察会、ピザ焼き体験などの事業を積極的に展開していく予定。

問 これまでは上札内住民が主に参加しているイメージであったが、中札内市街地の子どもたちにも周知することが大事ではないか。

答 今後は上札内地域に限らず村全体に向けての事業を展開していく。
宿泊事業にも力をいれて、村外から来た宿泊者に対する体験メニューを用意することで交流人口を増やすことも考えている。

★福原議員

問 交流館は研修を伴うような宿泊でなければ利用できないのではないのか。

答 宿という形の利用は認めていない。社会教育事業など、何か活動する際の宿泊場所という場合に限り許可している。



ミニ四駆作成・走行会にて

●中札内村児童館

○指定管理者
中札内村社会福祉協議会

令和7年4月1日～

令和12年3月31日

畑作に欠かせない客土事業 土質検査の結果に期待

会 計		当初予算額	今回補正額	補正後予算額
一 般 会 計		55億7,480万円	5,832万円	58億1,833万円
国民健康保険特別会計		5億1,680万円	3,549万円	5億5,244万円
介護保険特別会計		3億6,700万円	929万円	3億9,250万円
後期高齢者医療特別会計		8,170万円	—	8,170万円
簡易水道事業会計	収入	2億1,007万円	▲74万円	2億934万円
	支出	2億691万円	95万円	2億458万円
公共下水道事業会計	収入	4億3,616万円	—	3億4,056万円
	支出	4億7,798万円	17万円	3億9,344万円

各会計の予算の状況

補正予算

10日には、一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、簡易水道事業会計、公共下水道事業会計の5会計の補正予算を審議し、可決しました。補正内容と質疑の主なものを掲載します。

歳出

●手数料（土地改良事業費）

44万円

客土取場候補地の土質試験を行うため、手数料を追加しようとするもの。



客土

問 道営事業が終了する右岸地区の農業者は、客土を利用できるのか。

答 現在、左岸地区の要望を上げている段階だが、左岸地区の事業が終了したら、しっかりと要望を上げ、右岸地区も取り組んでいけるようにしていきたい。

●行政区交付金 30万円

★木村議員

問 増額の要因は。

答 特別活動交付金のうち、防災推進活動については1事業1万円で2事業までできるように改正し、中島地区、上札内地区、共栄地区などで対象の事業に取り組まれている。

コロナが明けて、多くの行政区で活動が増えているということで、その分も含めて増額となっている。



行政区活動の様子

●地方バス路線維持対策補助金 80万円

運転手確保のための人件費及び福利厚生費の増額、燃料代高騰などの実績により追加しようとするもの。

●介護給付費（障害者扶助費） 301万円

重度訪問介護サービス、施設入所サービスの実績増に伴い追加しようとするもの。

●訓練等給付費（障害者扶助費） 1380万円

就労系サービス利用者増に伴い追加しようとするもの。

●有害鳥獣駆除補助金 94万円

クマ檻設置数の増加、シカ及びアライグマ捕獲数の増加等に伴い追加しようとするもの。

★福原議員

問 今後も見込んでの補正か、現状を踏まえての補正なのか確認したい。

答 今後の見通しも含めて、補正予算を計上している。

今後、特別に増えない限りは、この予算で足りると考えている。

改善センターフリースペースの周知・利用促進を



改善センターフリースペースを活用した移住者交流会

●改善センター暖房設備改修工事 ▲74万円

★木村議員

問 改善センターのフリースペース周知と利用者の把握をどのように行っていく予定なのか。

答 これまで広報やSNSで周知を行っているが、あらゆる機会を通じて周知をしていきたいと考えている。

利用者については指定管理者による概ねの数字でしか把握できていないが、今後はカウンターの設置や定期的に確認する方法など指定管理者と検討していきたい。

●定住促進補助金 185万円

住宅リフォーム支援金の申請件数増に伴い追加しようとするもの。

●村営住宅修繕料 480万円

退去時修繕や給湯ボイラー・ストーブなど、今後の修繕費用を見込んで追加しようとするもの。

●とかち広域消防事務組合負担金 212万円

当初予算における職員費に充当すべき繰越金額の控除額に誤りがあったことから、不足となる負担金を追加しようとするもの。

歳入

●地域づくり総合交付金 ▲1500万円

馬鈴しよ高効率収穫支援事業について、補助要件を満たさないことされたことから減額するもの。

★宮部議員

問 北海道からいつ頃、交付金に該当しないとの連絡があったのか。

答 6月頃、北海道とのヒアリングを行っている際に不採択となった。

報 告

●損害賠償額の決定についての専決処分

令和6年7月2日、文化創造センター東側駐車場内において、教育委員会職員が村公用車で移動中に駐車場を出ようと後退してきた車両と接触したもので、修理を終え費用が確定したことから、損害賠償額を決定し、本村責任割合の3割分4万6490円を賠償したものの。

承 認

●令和6年度中札内村一般会計補正予算の専決処分

令和6年10月27日執行の第50回衆議院議員総選挙及び第26回最高裁判所裁判員国民審査に係る経費を地方自治法第179条第1項の規定に基づき専決処分したもの。



人事院勧告に伴う 給与等の改正

◆職員の給与に関する条例

国家公務員の人事院勧告が出されたことに伴い、国家公務員に準じて給料及び期末勤勉手当を改正しようとするもの。

◆中札内村議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例

◆中札内村長等の給与等に関する条例

職員に準じて期末手当を改正しようとするもの。

◆職員に対する寒冷地手当の支給に関する条例

国家公務員に準じて職員の寒冷地手当を改正しようとするもの。

議案に関する
審議結果や
賛否一覧は
こちらで
ご覧になれます



村政のここを教えて !!

一般質問

紙面の都合により、
内容を要約して
お知らせします。
※会議録はこちら→



12月定例会では4名の議員が登壇しました。

※各議員が質問を行っている様子（YouTube）はこちら→



とみず たかし 議員
戸水 隆

日高山脈襟裳十勝国立公園を活かした
本村への誘客について

6

YouTube 動画
開始時間
1分35秒～



みやべ しゅういち 議員
宮部 修一

- ・今後の農業動向と振興策について
- ・カスタマーハラスメント（カスハラ）への対応は

7

・1問目
1時間19分
43秒～

・2問目
3時間00分
34秒～



きたしま のぶあき 議員
北嶋 信昭

日本で最も美しい村連合についての
今後の取組みについて

8

3時間14分
32秒～



ふなた こういち 議員
船田 幸一

公共施設の非常用発電機について

9

4時間49分
13秒～

一般質問 とは？

議員が村政全般にわたり、執行機関（村長・教育長）に対して事務の執行状況及び将来に対する方針等について所信をただし、あるいは報告、説明を求め、疑問点をただすことです。

年4回開かれる定例会でのみ行われます。



とみず たかし
戸水 隆議員

今後の誘客へ、村の方針や展望は？

村長

国立公園立地自治体として知名度アップを図る



日高山脈襟裳十勝国立公園 十勝幌尻岳

問 新たな観光資源の発掘や、誘客のための企画を計画していますか。

答 十勝日高山脈観光連携協議会主催のビューポイント等を巡るバスツアーなど、アクティビティモニター事業を実施しています。更に国立公園立地自治体として知名度アップを図っていきます。

問 南札内岳の散策道路の整備、山岳センター内のジオラマを活用したVR(仮想現実)映像や、プロジェクトマッピングの採用、七の沢へのバスツアー、札内川ダムのカヌー使用許可等は実現可能と考えますか。

答 山岳センター内のジオラマを活用したVR(仮想現実)映像や、プロジェクトマッピングの採用、七の沢へのバスツアー、札内川ダムのカヌー使用許可等は実現可能と考えますか。



山岳センター内 日高山脈ジオラマ

答 散策道路については、北大山岳部に調査依頼中です。山岳センター内については、次年度以降、魅力向上のため改修を考えます。七の沢ツアーやカヌー使用については関係機関と協議を進めます。

問 オーバーツーリズム(観光公害)への対策は。

答 本村だけではなく、立地自治体13市町村の中でも早急に対策を講じていく方向性は一致しています。環境問題、交通障害、私有地侵入等、注意喚起を随時、周知していきます。

問 レンジャー(環境省自然保護官)配置の必要性は。

答 レンジャーよりも、地域おこし協力隊の制度を活かして募集を行い、配置していく考えです。

問 道内の国立公園で、ゼロカーボンパーク指定を受けている自治体がありますが、本村においても指定を目指す考えはありますか。

答 現段階では認定登録に向けた動きはなく、環境省や先駆的な自治体を調査しながら検討していきます。



札内川園地 キャンプ場

問 アウトドアブランド企業やトラボル企業、観光リゾート企業との包括連携協定の締結を目指し、新たな誘客事業等に取り組む考えはありますか。

答 まずは現在協定を結んでいる企業の事業成果を徹底的に上げるのが村のスタンスであり、新たに企業を探すのはまちづくりの本質から外れています。

問 今後の中札内への観光について、村長の野望は。

答 誘客より、まずは村民が日高山脈の大自然が国立公園になったということを認識して、誇りに思うことがまちづくりへの優先事項です。その先に観光の入り込みにつながると思います。

令和6年6月25日に国内で35ヶ所目の国立公園として日高山脈襟裳十勝国立公園が新たに指定されました。国内では、都市型観光から地方型観光の魅力が注目され、地方への訪客が増えています。近年、地方の各国立公園へのツアーやイベント企画が注目され、各自治体の努力により、観る、買うだけでなく、体験型ツアーの人気の高まり、観光市場で最も注目を集めています。

今後、誘客による経済効果等が期待できると思いますが、村の方針や展望などを伺います。



みやべ しゅういち
宮部 修一議員

今後の農業動向と振興策の方策は？

村長 食料・農業・農村基本計画を踏まえ改定作業に着手

村政執行状況報告の中で、農業粗生産高が過去最高の約161億円の見込みだと報告されました。農業収入が増える半面、農業支出も生産資材や人件費の高騰により、収益としては高騰前と比較する

とかなり減少すると推察します。農家戸数も平成16年度には178戸でしたが、令和5年度末では140戸まで減少し、20年間で40戸弱の農家が減少しています。

問 村として、各関係団体と築き上げた農業発展方策にそって進んでいると

みているのか、情勢によって見直しも必要な振興策などは出てきていないのか伺います。

答 底堅い生産実績を上げ続ける中札内

農業は、本村の経済基盤を支え持続可能性を高める唯一無二の基幹産業です。人口減少下で農業の担い手確保が難しく、経営面積拡大に伴う生産基盤整備の負担も増し、持続・発展に向けて課題が顕著化しつつあることも承知しています。村としては随時、発展方策に定める方向性に基づき、変化や課題に対応するための事業見直しや追加を行ってきたところで、今年度中に国から示される新たな「食料・農業・農村基本計画」を踏まえ、次

年度から各関係機関との連携協議を図りながら、令和8年度改定に向けた作業に着手していきます。

問 今後も農家戸数は減少傾向で、

第三者事業継承に向け農業実習生がなかなか集まらない現状ですが、今後の対応は何か練られていますか。

答 担い手育成センターが中心とな

り、第三者継承に向けた相談から継承後の支援というところまで一貫して取り組むことができるマニュアル作りが喫緊の課題です。

問 次年度から農業発展方策も次期

方策の検討に入りますが、農業者個々の経営状況の変化や、担い手・行政への要望など、アンケートを実施する予定はありますか。

答 全農家に対し、将来への意向や

経営面も含めたアンケートを実施していきます。

問 農業関係の補助事業について精

通した専門家を置く考えはありますか。

答 基本的には一般職の枠で採用した職員を育てる事が原則だと考えますが、農業情勢や制度も含めて変化しているので、今後協議をしていく必要性はあると考えます。

カスタマーハラスメント（カスハラ）への対応は。

大声、暴言、SNSへの個人情報開示などによって、就業環境が害される事案が全国的に発生しており、道でも「カスタマーハラスメント防止条例案」が可決され、令和7年4月より施行されることとなりました。役場や村内の事業者でも、接客業を中心に理不尽な要求や威圧的な言動などの迷惑行為を受けることもあるのではないかと考えます。

問 村として、職員や民間事業者従

業員などのメンタル不調にも対応するため、「迷惑行為などへの対応マニュアル作成」が必要ではないかと考えますが。

答 村としては、「カスハラは違法である」との認識を高めることが重要と考えています。過去に、村職員に対して電話による威圧的な言動をする悪質な事案が発生したことから、令和2年11月に電話によるクレーム対応マニュアルを作成したところ。道では、カスハラは具体的な事例や事業者の責務などを定めた条例指針等の策定を進めており、その内容を参考にしながらマニュアルの充実を図り、運用面での必要な改定を行う考えです。

カスハラには毅然とした対応をするという基本姿勢を明確化し、安心して働ける職場づくりを目指し、組織一丸となって対応していきます。





きたしまのぶあき
北嶋信昭議員

日本で最も美しい村連合についての今後の取組みについて

村長 住民一人ひとりが自分事としてとらえる協働の意識が不可欠

2016年に「日本で最も美しい村」連合に加盟し、中札内村では美しい村づくり、景観を未来につなげるための様々な取組みをしていると思います。

問 村づくりは、住民一人ひとりの力を借りる、人づくりから始まると思いますが、今一度、原点に戻り見つめ直すことも大事ではないでしょうか。

答 連合に仲間入りしてから、自ら地域に誇りを持ち、生活の営みによって育まれてきた景観や文化を守り、未来につなげられるよう取組みを進めています。

美しい村づくりは環境美化にとどまらない総合的な政策であり、住民一人ひとりがまちづくりを自分事化する協働の意識が不可欠で、加盟して10年の節目が近づき、その意義をさらに浸透させる必要があると考えています。



the most beautiful
villages
in japan

問 美しい村連合に関する年間費用は。

また、連合に加盟したことによりどのような効果がありましたか。

答 年間費用は約150万円です。

連合加盟の最大のメリットは、住民が視線を合わせて共に歩むことのできる指針を得られたことで、「中札内村は美しい村」というブランドイメージも広げられたことです。総会などで志を同じくする加盟村と情報交換を図り、特に北海道連携会議とは密に連携を図り、交流を深めています。

問 日高山脈が国立公園に指定されましたが、新たな事業等を実施する考えはありますか。

答 バスツアー、サイクリングツアーを開催したほか、今後也包括連携協定を結ぶ企業や十勝日高山脈観光連携協議会など、各種団体と協力した企画を

検討しています。

問 議会が行政視察した鶴居村は、本村よりも進んでいる、場を設け、村民自らの意思による活動に取り組んでいます。本村も村民に対する理解活動を更に進めるべきだと思えますが。

答 美しい村づくりを自分事として受け止めてくれる住民が更に増えるよう、引き続き努力していきます。

問 国道、道道の雑草については、所管する関係機関に依頼していると思います。村としてまだやれることがあると思いますが、何か対策を行う考えはありますか。

答 国及び道では道路の除草を年2回実施しています。今年度は市街地を除く区間の歩道の縁石周りの除草作業も行われています。今後も国や道に除草を要望していきます。

問 鶴居村では、雑草対策として「温水除草」を行っており、薬害の心配やケガなどの事故低減に繋がり、参考になると思います。

答 鶴居村の温水除草については、村としても可能性を感じ、鶴居村への視察を通じて調査研究することとし、メリットが大きいと判断した際は導入を前向きに検討してみたいです。



美しい村を、美しいまなに。
第4回日本で最も美しい村
ビューティフルデー



ふな とういち
船田幸一議員

公共施設の非常用発電機の設置は充分であるか？

村長

財政状況を踏まえつつ、優先度を考慮して配備する



上札内交流館に設置されている
非常用発電機

問 公共施設の非常用発電機の設置状況は法律の基準を満たしていますか。

答 消防法、建築基準法の設置義務や設置基準の手続きにより法令に適合しており、村が管理する施設については、いずれの法基準も満たしています。災害時における電気の重要性は村としても認識しており、胆振東部地震でのブラックアウト以降、毎年、防災備品の充実に努めてきました。

非常用発電機については、費用対効果も熱慮し、発電力の大きな据置型と、汎用性が高い小出力の可搬型の2種類で対応しています。

問 防災の観点から開設されている13避難所施設への設置状況について伺います。

拠点となるべき要所として、命に関わる村立診療所と老人保健福祉センター、国道と隣接の農村環境改善センターにおける非常用発電機の機能が十分に備

わっているとはいえないと捉えています。村の認識はいかがでしょうか。

答 災害対策本部の機能を有する役場庁舎と地域の指定避難施設の上札内交流館の2ヶ所に、発電力が大きい据置型を設置しており、施設全体に電力供給が可能です。

小出力の可搬型は、照明や通信機器、冷房機など最低限の電力供給を目的に18台所有しています。

上札内交流館を除く指定避難所施設12ヶ所のうち、緊急度を勘案して中札内小・中学校、上札内小学校、村民体育館、道の駅、中島農業センターには各1台常備し、他は状況に応じて可搬型の持ち込み対応になります。村立診療所は、電力切替盤により外部電力が供給できる仕組みです。

ご指摘の厳冬期の対策も重要であり、全てを電力に頼ることは難しいと考えており、リスクマネージメントの観点から、ポ



非常用発電機は定期的に点検が行われている

ダブルストーブやジェットヒーター等の燃料暖房機の活用を想定しています。

災害対応に「これで終わり」ということはなく、非常用発電設備の配備については、村の財政状況などを踏まえつつ、災害の種類や規模、避難者数、設置場所や地理的条件など優先度を十分に考慮し、今後も検討していきます。

住民参加型予算制度 第3回ワークショップ開催！

予算化事業決定へ

令和6年11月19日に11名の村民に参加いただき、第3回ワークショップを開催しました。第2回で選定した5つの事業について担当課と協議を行った結果、『介護従事者等への助成』を議会として事業化することを決定しました。

『介護従事者等への助成』

【目的】村内の人手不足の福祉分野における人材の確保。

【概要】村内で働く介護従事者や看護師、放課後児童クラブの支援員などで、資格取得のために奨学金制度を利用し、返済等を行っている方に村から助成を行う。



担当課との協議内容や事業内容等の説明を受けた後、3つのグループに分かれて、話し合いを行いました。話し合いでは、事業化案に対して次のような意見が出されました。

【参加者からの意見】

- ・職種の対象制限がない方がいい。いろいろな人が使いやすいのでは。
- ・職種に応じて金額に制限を設けてはどうか。
- ・奨学金助成制度があるだけで村に働きに来てくれる人は増えると思う。
- ・多くの方に利用してもらうため、周知方法の工夫が必要。



ワークショップの流れ

第1回(6/26)

「中札内村をより魅力的にするには？」グループで事業のアイデア出し。

第2回(7/19)

各グループのアイデアを、効果と実現性の高い低いで振分け。グループごとに予算化したい事業を3つに絞り、全体プレゼン。グループ発表で出た事業から、担当課と協議する事業をどれにするか、全体で投票し選定。

担当課と協議

担当課との協議内容や予算化される事業案について説明。

第3回(11/19)

事業案の中身について、グループで協議し、具体的な内容を詰めて提案。

☆第3回で出された意見をもとに、再度、議会で検討し、最終的な事業化案を決定しました。詳細は議会だより5月号及び『予算2025』に掲載します。



森 洋明 さん

色んな世代、職場の人たちが集まり、意見を交わすことによって、思っていた事と違う意見が出たりして、私は村の見方が少し変わった様な気がします。

村に対し何かしてほしい、何もしてくれないではなく、1人ひとりがもっと興味を持ち、私達が住んでいる村をもっと良くなるよう共に協力して提案していかなければいけないんだと思いました。

大変貴重な場を設けていただきありがとうございます。

ワークショップ 参加者の感想



岡田 陽子 さん

ワークショップに3回参加させていただきました。

最初は、どのような形になっていくのかあまり見えていなかったのですが、1つの事業が出来上がり、本当に必要な人が活用できるようになればいいなと思いました。

細かくプランを練るのは役場の皆さんの負担も大きくなると思いますが、村にとっていい循環ができていくことをお祈りいたします。

◆二村議会研修会（更別村）
ハローワーク帯広の野村賢市氏から「十勝管内の人手不足の状況について」と題し講演をいただき、その後、二村議会の情報交換と懇親会を行い、親睦を深めました。

◆南十勝議員研修会（大樹町）
研修会では、三重県鳥羽市職員（元議会事務局議事係長）の北村純一氏から「議会改革 議会のICT化について」と題し、全国に先駆けて議員向けタブレット端末やグループウェアを導入した背景など、ご自身の経験を交えた講演を拝聴しました。



南十勝議員研修会ではICT化を活用した議会改革の事例について学びました

議員研修・行政視察対応

六戸町議会が来村

令和6年11月に青森県六戸町議会（議員10人）が来村されました。

六戸町では町内5校の小中学校を閉校し、新たに義務教育学校を開校する予定であることから、閉校後の校舎利活用の参考として、中札内交流の杜を視察されました。

教育委員会から交流の杜を整備した経緯や現状などについて説明し、意見交換を行いました。



校舎利活用について交流の杜を視察されました

中札内中学3年生模擬議会



令和6年11月29日、模擬議会が行われ、8グループに分かれて政策提案や改善提案がされました。

生徒たちは、村長や議長による事前勉強会などを経て村や議会の仕組みを知り、政策や状況を調べて提案し、それに対する答弁書をもとに再質問を準備するなど、活発な討議がされました。

村長、教育長からは、「まちづくりに対する想いがとても伝わり、大変素晴らしい」と講評を受けました。議会傍聴や模擬議会を体験した生徒の感想を抜粋して掲載します。



各グループの質問内容

- A 中札内村の知名度向上に対する取組みについて
- B ICT化に伴う学校備品の整備について
- C まちなかキッチンスタジオでの料理教室開催について
- D 中札内村のごみ問題について
- E 村での子育て環境の改善と支援について
- F 自習スペース整備による学習意欲向上の取組みについて
- G 空き家の手入れについて
- H 中札内中学校正門・駐車場の改善について

僕

は「フोटospottを村全体に増やしてみようか」という質問をさせていただきました。緊張して噛むところもありましたが、なんとか自分たちが考えたものを意見として伝えようと頑張りました。

今回の模擬議会で『街のことについて考える力』が一層伸びたと感じています。将来住むかもしれない街でも、模擬議会で学んだ「村のいいところ・改善点について考える」ということを少しでも生かされたいなと思いました。

最後に、今回は僕たちに身近に村のことについて考える機会を与えてくださり本当にありがとうございました。

私

はまちなかキッチンでの料理教室開催について質問しました。とても緊張しましたが皆さんが、聞いてくださったので話しやすかったです。

今回の取り組みで感じたことは、どのような提案をしたら中札内村をより良いものにできるかということです。今回提案させていただいたものも、どのようなことを調べたらいいのか、どのように伝えたらいいのかとグループのメンバーとたくさん話し合いながら作るのは大変でした。しかし役場の方々が真剣に向き合ってくれてとても嬉しかったです。

今後村の一員としてイベントに参加していきたいと思っています。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。



※各グループの質問や答弁の内容については村の広報誌「なかさつない」2025年1月号の8頁・9頁の模擬議会の記事をご覧ください。



模

模擬議会という場に参加させていただけありがたいとございました。

このような経験は今後社会にでた後、前でも十分に生かせるなど思いました。

模擬議会で提案させていただいた「ゴミの問題」については、私たち中学生もボランティア活動に目を向けて、積極的に参加しようと感じました。

私たちの質問、再質問にも丁寧に答弁していただいて、とても分かりやすく模擬議会に参加出来ました。

また、緊張という刺激が入試にも直結してくるのではないかと思います。



模

模擬議会・議会傍聴では、一つひとつの提案の重大さや事の重み、その場でしかわからないことを沢山学べました。このような貴重な経験は、中々ないと思います。その場に見に行ったからこそ、これからの中札内村の促進に力を加えたいと強く感じました。

また、提案する内容を一つひとつ具体的にそして、常に村民の方々のために物事を考えている村議員の方々は凄いと改めて感じました。今後も村民として村の活動に積極的に取り組んでいきたいと思えます。本当にありがとうございました。

私

は大勢の人の前で話すのが苦手です。とても緊張していましたが、優しく丁寧に返答をくださったので落ち着いて質問ができました。

情報収集の際にはまとめる力や、中札内村を代表する方たちの前で発表するという普段にはない貴重な経験になりました。今後の中札内村の発展になにか一つでも関わることができたら私たちも嬉しいのです。

農村環境改善センターのフリースペースを学習スペースとして何度か利用させていただいたのですが、施設が整っておりとてもきれいで「また利用したい！」と思える空間でした。

これからは中札内村の一員として、SNSに「いいね」をしてまちづくりの発展に関わっていききたいです。

模擬議会を終えて

生徒の皆さんからの質問は、村の状況をよく調べ、よりよい村にするために知恵を絞って、説得力がある提案となるよう、具体的な例や数字をあげたり写真や図のパネルを用意するなど、工夫と事前準備がしっかりとされた素晴らしいものでした。

議員としても参考になり見習う部分がたくさんありました。

模擬議会は学校でのふるさと学習の一環ではありますが、生徒の意見が施策に反映されるなど、協働のまちづくりという視点や、議会活性化においても大変重要だと感じています。今後も模擬議会が継続され、よい提案がされることを期待しています。



なか い やす お
中井康雄議長

【これまでの模擬議会の提案が村事業に反映されています】

- 高校入学祝金／一人5万円を支給
- ベジチェックの設置と活用／まちなかキッチンスタジオへの設置や健康診断などの様々な場面で活用
- 子どもたちが自由に使える学習スペースの設置／改善センターフリースペースを学習などができる環境に整備

総務厚生常任委員会・産業文教常任委員会

村内合同所管事務調査

令和6年10月、札内川上流地域の状況と今年度実施した工事現場などの村内施設を調査しました。

★交流の杜

体育館床改修工事／芝刈機更新



改修後、大会等の誘致に繋がっている

体育館の床は老朽化が激しく、利用者の安全確保と利便性向上を図るために改修された床とライン引き直しの状況を確認しました。また、芝刈機の活用や性能等の説明を受けました。

交流の杜はスポーツ交流の拠点施設であり、村民にもっと利用される施設となるように努めていただくことを望みます。

★障がい者グループホーム

(ひばり荘) 管理状況

施設のホールや居室の管理・入居状況や入居者の就労状況等について確認しました。

障がい者にとって必要な施設であり、今後も適正な維持管理に努めていただくことを望みます。

★保育園舎エアコン設置工事



教室、遊戯室、職員室等にエアコンが設置された

気温が高い日には、園児や職員の健康管理が懸念されていましたが、エアコンを設置したことにより、快適に保育できる環境が整えられました。

今後も気温上昇に対応できるように、園児の体調面に配慮しながら、適正な維持管理に努めるとともに、冬期間の補助暖房として利用するなど有効利用を求めます。

★リハビリテーション事業所

／診療所エアコン設置



十勝初のリハビリ器具を導入

介護保険対象者の運動訓練及び動作訓練のための新たな器具の導入状況と、通所・訪問による利用実績等について確認しました。

高齢化社会を迎え、今後も需要が高まることから、適正な維持管理・運営を求めます。

★札内川園地トイレ炊事場

整備工事



新しい炊事場を整備
利用者の増加が期待される

新たに国立公園となった日高山脈襟裳十勝国立公園内に位置する札内川園地は、次年度から訪問、キャンプ場等の利用者増加が見込まれることから、指定管理者と密接な連携を図る中で、適切な維持管理と運営に努めていただくことを望みます。

★道道静内中札内線視察

(札内川上流地域)

今年度は七の沢橋まで進入することが可能となりました。

帯広建設管理部から、雪崩による被災と復旧状況、現道の維持管理、令和元年度から着手されている上札内橋架替え工事等の進捗などについて説明を受けました。

静内中札内線の維持管理には多額な費用を要していますが、令和6年6月に国立公園に指定された日高山脈襟裳十勝国立公園に多くの来場者が見込まれること、水道水、農業用水、発電用水の水源地として水質保全管理とダム等の維持管理のため、道路や橋梁等の補修、維持が必要であるという観点から、今後とも適正な管理がされていくことを求めます。



上士幌町の地域公共交通の取組みについて学んできました

議会行政視察調査

上士幌町へ 行ってきました！

令和6年9月に上士幌町を訪問し、本村で課題となっている地域公共交通（コミュニティバス）について、視察調査を行いました。

上士幌町の課題

令和元年度まで、路線バス2路線、タクシー会社、町営の福祉バス（市街地線1路線、農村地区3路線）が運行されていました。

公共交通においては、スクールバス、地方バス路線運営費補助、高齢者等福祉バス、介護サービス送迎などを含めた年間経費が約1億円で、利便性を高めつつ、いかに経費を削減していくかが課題でした。

令和2年度から3年度に、利用頻度の低い農村地区3路線をデマンド運行・事前予約制とし、空き時間を可視化して、沿線住民の利用拡大を図る実証実験を行っています。

デマンド運行への取組み

デマンド化に向けては、高齢者でも簡単に操作できるタブレットによる事前予約システムを開発、導入しています。タブレット操作については地域おこし協力隊員が中心となり、高齢者が集まるサロンでの説明会や個別訪問などのサポートを行っています。

現在の利用者は23人（平均年齢88歳）で、22人がタブレットで予約しています。

令和4年4月から農村地区3路線がデマンド交通となり、バスの稼働時間と運行回数が減少したことで、運行経費が大幅に削減されました。

農村部デマンド交通

（高齢者等福祉バス）

ハイエースで運行されており、週に3回、8時30分から15時30分まで利用でき、当日の乗車時間30分前までの予約が必要です。

無料で利用でき、行き先は市街地区の主要な10ヶ所の施設のみです。

自宅のタブレットの他に、市街地主要施設5ヶ所に設置されたタブレットでも帰りの便の予約が可能です。

市街地循環型コミュニティバス

ハイエースで運行されており、火・水・金曜日の週3日の運行で、誰でも利用でき、運行ルート内であればどこからでも乗車可能です。

利用料は1回100円ですが、65歳以上の方、障がいのある方、中学生以下は無料です。



上士幌町のコミュニティバス

その他の公共交通の取組み

令和6年10月からは郵便局の配送車を活用した貨客混載の実証事業や、令和4年12月からは無人走行の自動運転バスの実証実験が行われています。

まとめ

上士幌町では農村地区3路線がデマンド交通で、高齢者福祉バスとしてタブレットでの事前予約制を導入し、経費を削減しました。

市街地循環型コミュニティバスの路線は、住民の要望を受け、町内を細かく循環しています。

本村では、公共交通を必要としている高齢者は多くいるものの、くるくる号の利用は停滞し、デマンド型の福祉移送サービスの利用が徐々に増加しています。くるくる号については、利用拡大に向けたルート変更や便数を増やすなど、運行方法を十分に検討する必要性を感じるとともに、身体が不自由な方や要介護認定を受けている方が制限なく、安心して利用できるような福祉移送サービスの確保が必要です。

農村地区については、令和8年度からデマンド交通導入が検討されていますが、どのような要望があるかをしっかりと把握し、運行方法を考えることが重要です。

タブレット端末を導入しました

中札内村議会では令和6年11月にタブレット端末を導入し、12月定例会で試行的に活用しました。

次回の3月定例会から本格的に導入していきます。

タブレット端末は、本会議の議案や通知文書等のペーパーレス化、SNSによる情報発信、オンライン会議、オンライン研修会、通常の議員活動など、様々な場面で活用していきます。



ふるさと会に参加!

10/5 札幌・中札内村ふるさと会

12/7 東京・中札内ふるさと会



札幌ふるさと会
交流の様子

それぞれのふるさと会に4名の議員が参加しました。

会員の皆様と情報交換をしながら親睦交流を図り、楽しい時間を過ごしました。



東京ふるさと会
集合写真



次の定例会は3月です!

日程がきまりましたら情報無線やSNS等でお知らせします。どなたでも傍聴できますので、気軽に議場へお越しください。議会中継はYouTubeでも配信中です。

「中札内村議会」で検索するか、QRコードからアクセスできます。



ゼロカーボンシティ宣言研修会 開催します!

中札内村議会主催の研修会です。どなたでもご参加いただけますので、ぜひご参加ください!
(無料・申込不要)

日時 2月7日(金) 午後2時から
場所 文化創造センター ハーモニーホール
演題 『地球環境通と言われるための講座』
ゼロカーボン編
講師 桑畑 健也 氏(元所沢市議会議員)
問合せ 中札内村議会事務局
電話 67-2497



議会中継(録画版)もチェック!!

12/10 12月定例会
条例改正・補正予算など



12/13 一般質問



議会公式Instagram

ぜひフォローをお願いします!!



編集後記

77才喜寿。議会では17年で約50問の一般質問をしました。村は少しは変わったかなー?

釣りジジイはまだまだ元気。海釣りを初めて20年位。道内各地1日400km位は楽しくドライブ気分で行ける。

広尾のチカ、鮭釣りから始め、道内各地の漁場にたくさん釣りの友ができた。現在でも時々、釣り友から連絡が来る。

春のニシンから始まり、ホッケ、コマイ、カレイ、穴子、鮭、サンマ、毎日が楽しい釣日。

各地では「おう来たか、いつまでいる」、「今度いつ来る」があたり前の合言葉。夜には酒を飲みながら釣り自慢に花咲く楽しい夜。釣り友にはいつも「枝豆」をお土産に。釣り友は「おう!中札内の枝豆!」と喜んでくれる。

昨年一番のヒットは喜寿にあわせ、鮭を77尾釣ったこと。

77才、これからも議会、釣りに道内各地に向かって走り続けたい。元気に。

釣りジジイさん、ばあさんは皆元気です。皆さんも釣りはいかがですか? 元気になれます。

(北嶋 信昭)

〈広報委員〉

木村 優子
戸水 隆

大和田 彰子
福原 一斉